

1. 科目名 (単位数)	社会福祉経営論 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP1117						
2. 授業担当教員	岡田 広司									
4. 授業形態	演習形式で授業を行う。集団討議、個人発表、レポート作成。場合によっては現地視察も行う。		5. 開講学期	春期・秋期						
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	本講義では、非営利法人の経営について学習をする。非営利法人には財団法人、社団法人、NPO、医療法人などがあり、それぞれの特徴について理解する。非営利法人の共通する問題としては、財源や人材の確保、社会的評価などがある。これらについて具体的な問題点を学習していき、どのように問題を解決するのが良いのかなどについて学習を進める。また、現代社会で重要視されている、コンプライアンスと非営利法人との関係についても学習をする。									
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉経営に関する広い知識を身につけ、理解する。 ・まず社会福祉を取り巻く経済の実情を知り将来を展望する。 ・福祉法人の目標を考え、経営の本質について考察し、就職等で実践する。 									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学習を行う上での基本となるので、各自学習課題にそって事前学習・事後学習を進めること。 2. 15回の講義の中で3回福祉経営に関するアサイメント (レポート) を課す。 【レポート課題】 (各課題について1,000字以上) <ol style="list-style-type: none"> (1) 大戦後から社会福祉事業法成立までにおける社会福祉サービス組織の変遷について述べなさい。 (2) 社会福祉事業法の成立から介護保険法の成立までにおける社会福祉サービス組織の変遷について述べなさい。 (3) 社会福祉法人の経営に関する経営の原則および経営基盤を確立するための3要件について述べなさい。 3. 期末に学習した内容の総範囲を対象にした期末試験を実施する。 									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 福祉臨床シリーズ編集委員会編『社会福祉シリーズ 11. 福祉サービスの組織と経営』弘文堂、2019。</p> <p>【参考書】 小松理佐子編『よくわかる社会福祉運営管理』ミネルヴァ書房、2012。 社会福祉学習双書編集委員会編『社会福祉学習双書 社会福祉概論Ⅱ』全国社会福祉協議会、2014。 岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011。 岡田広司編著『戦略的イノベーションの経営』あるむ、2008。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の運営管理に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経営学的な思考が身についたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 期末試験	総合点の40%	3 課題レポート	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の30%									
2 期末試験	総合点の40%									
3 課題レポート	総合点の30%									
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳格な指導下におく。 2. 「参加すること」これは出席を指すのではなく、他人の意見に耳を傾ける余裕と、間違えるのを恐れない自分の意見を持ち、議論に積極的に参加する。否定するときは、必ず代替案を出す。そしてリーダーシップをとる。それが「経営」において決定的に重要なためである。 									
13. オフィスアワー	授業中に通知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション (講義概要の説明) 社会福祉と経営の概念	事前学習	教科書「はじめに」 pp.3~4 の内容から社会福祉経営の概念に関する記事を確認する。							
		事後学習	授業の説明及び授業内容全体の構成を考察して、社会福祉と経営の概念をまとめる。							
第2回	福祉サービス提供組織の沿革 1. 組織を取り巻く背景	事前学習	教科書 pp.4~11 の福祉サービス提供組織の記事を予備知識として確認する。							
		事後学習	授業の内容、第1章の組織を取り巻く環境についてまとめる。							
第3回	福祉サービス提供組織の沿革 2. 組織の設立と変遷	事前学習	教科書 pp.12~18 の社会福祉組織の設立と変遷の記事を確認する。							
		事後学習	授業の内容、第1章の福祉サービス提供組織の沿革をまとめる。							
第4回	福祉サービス提供組織の役割 1. 社会福祉の契約化	事前学習	教科書 pp.19~30 の社会福祉の契約化時代の到来の記事の確認。							
		事後学習	授業の内容、第2章の介護保険法成立までの変遷を把握する。							

第5回	福祉サービス提供組織の役割 2. 社会福祉事業法成立	事前学習	教科書 pp.31～37 の社会福祉事業法成立に関連する記事の確認。
		事後学習	授業の内容、第2章の福祉サービス提供組織の役割を整理する。
第6回	福祉サービス提供組織の体系 福祉施設の整備と運営	事前学習	教科書 pp.39～47 の福祉施設の整備と運営に関する現状の把握。
		事後学習	授業の内容、第3章の福祉サービス提供組織の体系をまとめる。
第7回	福祉サービス提供組織の制度 社会福祉法人と NPO	事前学習	教科書 pp.48～55 の社会福祉法人と NPO に関する現状の把握。
		事後学習	授業の内容、第3章の福祉サービス提供組織の制度をまとめる。
第8回	福祉サービス提供組織と地域社会 1. 社会福祉協議会	事前学習	教科書 pp.57～64 の社会福祉協議会に関連する記事を確認する。
		事後学習	授業の内容、第4章の社会福祉協議会と地域社会についてまとめる。
第9回	福祉サービス提供組織と地域社会 2. 福祉 NPO	事前学習	教科書 pp.64～72 の福祉 NPO に関する記事の確認と現状の把握。
		事後学習	授業の内容、第4章の福祉 NPO と地域社会について整理する。
第10回	組織と経営に関する基礎知識 1. 組織の特質と成立要件、組織構造の設計原理	事前学習	教科書 pp.75～80 の授業内容に関する新聞や雑誌の記事の確認。
		事後学習	授業の内容、第5章の組織の成立や組織構造の設計原理を整理する。
第11回	組織と経営に関する基礎知識 2. テイラーの科学的管理法、ファヨールの管理過程論	事前学習	教科書 pp.80～94 のテイラーの科学的管理法の記事を確認する。
		事後学習	授業の内容、第5章の組織と経営に関する基礎知識をまとめる。
第12回	福祉サービスの業務運営と経営 1. 組織運営の基本	事前学習	教科書 pp.95～102 の組織運営の基本に関連する記事を確認する。
		事後学習	授業の内容、第6章の福祉サービスの業務運営のあり方を整理する。
第13回	福祉サービスの業務運営と経営 2. NPO の組織運営	事前学習	教科書 pp.102～112 の NPO の組織運営に関連する記事を確認する。
		事後学習	授業の内容、第6章の NPO 法人の組織運営と経営に関してまとめる。
第14回	福祉サービス提供組織の財源 資産管理と運営財源	事前学習	教科書 pp.113～133 の資産管理と運営財源に関連する記事の確認する。
		事後学習	授業の内容、第7章の福祉サービス提供組織の財源に関して把握する。
第15回	福祉サービス提供組織の人事労務・財務・会計管理、 および学習内容の総括	事前学習	教科書 pp.133～146 の人事労務・財務・会計管理の記事を確認する。
		事後学習	授業の内容、第7章の人事労務・財務・会計管理及び全体の学習を確認し、総括する。
期末試験			